

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 23日

住 所 埼玉県熊谷市桜木町2-82セレッソ1階

県内企業等の名称 株式会社キョーリク

代表者役職 氏名 代表取締役 原田 勲

株式会社キョーリク はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社のビジョンである”本当の自分を創る”に基づき、今の行動が未来を創る、そのため、世界の課題をジブンゴトにし、住みたい、生きたい未来を考え、行動する。そして、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すと考え、社員一人ひとりが真摯に事業を活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	コピー用紙の使用枚数削減 <(現状値)2023年の数値> 523,651枚(トナー実績)	<2030年に向けた指標> 2023年比 10%削減 <3年後に向けた指標> 2023年比 5%削減
社会	①IT導入によるバックオフィス業務時間削減 ②子供たち向けに就業体験授業実施 <(現状値)2023年の数値> ①5名×22日×2h=220h年間2,640h ②3回/年	<2030年に向けた指標> ①10%削減(264h分削減) ②6回/年 <3年後に向けた指標> ①5%削減(132h分削減) ②3回/年
経済	①Edtech、XaaSサービスの開発など、研究開発費を確保 ②小中高生を対象とした社会課題発見・解決型の探究プログラムなど、新製品を開発 <(現状値)2023年の数値> ①200万円 ②プロトタイプ開発	<2030年に向けた指標> ①現状値の同額以上確保 ②3件開発 <3年後に向けた指標> ①現状値の同額以上確保 ②1件開発

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 6年 1月 18日
住 所 埼玉県さいたま市見沼区染谷1-211
県内企業等の名称 株式会社八雲造園
代表者役職氏名 代表取締役 三枝 和男

株式会社八雲造園 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「顧客、協力業者、会社と社員を互いに尊重し、相互の繁栄をはかり、地域社会の永続的な発展に寄与する。」に基づき行動する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	資源循環の観点から、剪定、伐採発生材の再生処理場搬入率を向上させる。 <(現状値)2023年の数値> 剪定、伐採発生材の再生処理場搬入率: 93.5%(焼却処理場搬入率:6.5%)	<2030年に向けた指標> 再生処理場搬入率:100% <3年後に向けた指標> 再生処理場搬入率:95%
社会	自然災害による倒木等の応急対応を行う。 <(現状値)2023年の数値> 災害応急対応:1件(倒木撤去)(累計)	<2030年に向けた指標> 災害応急対応:8件(累計) <3年後に向けた指標> 災害応急対応:5件(累計)
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①女性の管理職割合:28.5%(2人/7人) ②定年後再雇用率:100%	<2030年に向けた指標> ①女性の管理職割合:40% ②定年後再雇用率:100% <3年後に向けた指標> ①女性の管理職割合:33% ②定年後再雇用率:100%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 22日
住 所 埼玉県川越市鯨井1086
県内企業等の名称 株式会社 東興業
代表者役職氏名 代表取締役 遠藤 武

株式会社 東興業

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、真心を込めた良い製品を提供し、顧客の信頼を得ると共に、建設業を通じて住みよい地球環境の創造を目指し、限りある資源と環境の保全に貢献することを方針としています。
上記方針のもと、当社は持続可能な開発目標(SDGs)を推進して、持続可能な社会の実現に努めます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	二酸化炭素排出量の削減をする。 (基準値、削減率は、エコアップ認証制度の活動に準ずる) <(現状値)2023年の数値> 二酸化炭素排出量:基準値:27.2t	<2030年に向けた指標> 二酸化炭素排出量削減率:3.0% <3年後に向けた指標> 二酸化炭素排出量削減率:1.5%
社会	美化活動を実施する。 <(現状値)2023年の数値> 彩の国ロードサポート:年2回 川の国応援団制度:年4回 参加人数50%以上/全社員	<2030年に向けた指標> ロードサポート年2回 川の国年4回 参加人数70%/全社員 <3年後に向けた指標> ロードサポート年2回 川の国年4回 参加人数60%/全社員
経済	多様な働き方の推進をする。 <(現状値)2023年の数値> 高齢者の雇用比率:9%/全社員	<2030年に向けた指標> 高齢者の雇用比率:20%/全社員 <3年後に向けた指標> 高齢者の雇用比率:15%/全社員

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月30日
住 所 埼玉県和光市丸山台1-9-19
県内企業等の名称 栄和開発株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 吉山 隼人

栄和開発株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社員寮で提供している食事において、「おいしい食べ物を適量で残さず食べきる運動」をスローガンに、食べきり運動の普及・啓発、食品ロス削減のための取り組みに努める。 <(現状値)2023年の数値> 食品ロス:85kg	<2030年に向けた指標> 食品ロス:5kg <3年後に向けた指標> 食品ロス:65kg
社会	社員参加型・社会貢献活動の推進。町内会・地域イベントへの積極的参加。地域貢献活動の推進に努める。 <(現状値)2023年の数値> ①街の美化活動:2回/年・のべ15人 ②町内会・地域貢献活動:2回/年・のべ9人	<2030年に向けた指標> ①5回/年・のべ50人 ②5回/年・のべ30人 <3年後に向けた指標> ①3回/年・のべ30人 ②3回/年・のべ18人
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①女性の管理職割合:25%(1人/4人) ②子連れ入社率:33%(1人/3人)	<2030年に向けた指標> ①75% ②100% <3年後に向けた指標> ①50% ②50%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月24日

住 所 埼玉県さいたま市中央区本町西4-11-10

県内企業等の名称 株式会社クワバラ・パンパキン

代表者役職 氏名 代表取締役 桑原 幹夫

株式会社クワバラ・パンパキンはSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「価値ある未来と環境を創造する」を基本とし、経営方針である「顧客へ価値ある未来を」「社会へよりよい環境を」「社員へやりがいと幸せを」を目的としています。循環型社会を目指す企業として、当社の経営理念そのものが持続可能な開発目標(SDGs)の考え方に通じており、社員一人ひとりが事業活動と社会貢献活動に取り組むことで、自分の仕事がSDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー自給率向上のために、石油・石炭等の化石燃料に依存せず、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素も排出しない、環境にやさしいクリーンエネルギーである【太陽光発電】を導入。 <(現状値)2023年の数値> 売却電力量 :32,380kwh	<2030年に向けた指標> 売却電力量 60,000kWh <3年後に向けた指標> 売却電力量 40,000kWh
社会	社会貢献活動の推進 <(現状値)2023年の数値> 彩の国ロードサポート活動:年6回・延べ150人参加 ※宣言時の目標を達成しているため、2030年まで現状維持に努める。	<2030年に向けた指標> 彩の国ロードサポート活動:年6回・延べ150人参加 <3年後に向けた指標> 彩の国ロードサポート活動:年6回・延べ150人参加
経済	住宅の解体材や樹木剪定枝などの木くずを木質チップ化し、化石燃料に代わる木質バイオマスエネルギー源として燃料化・再生。二酸化炭素の排出抑制、地球温暖化防止、循環型社会の形成に寄与。 <(現状値)2023年の数値> 木質チップ販売処分量:54,492t	<2030年に向けた指標> 木質チップ販売処分量:60,000t <3年後に向けた指標> 木質チップ販売処分量:54,492t

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月9日
住 所 埼玉県草加市青柳2-11-43
県内企業等の名称 森紙器株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 森 勇一

森紙器株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「より多くのお客様にご満足頂ける、より良い包装材料を提供し、協力取引先と従業員家族の限らない繁栄を計る」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	[生物多様性] 当社はFSC認証会社であるため、FSC製品販売における「責任のある木材資源を利用したパッケージを製作することで森林環境の保全を実施 <(現状値)2023年の数値> 売上割合:0.2%(5,000千円実績)	<2030年に向けた指標> 売上割合:30% <3年後に向けた指標> 売上割合:10%
社会	[社会貢献活動] [人材育成] ①近隣小学校の工場見学や夏休み親子工場見学 ②草加市のイベント <(現状値)2023年の数値> ①年1回 環境保全や社会経済活動教育を実施 ②年1回 ボランティアで段ボール遊具の出展を実施	<2030年に向けた指標> ①年4回 ②年8回 <3年後に向けた指標> ①年2回 ②年4回
経済	[環境配慮][社会問題解決][3Rの推進][商品・サービスの安全性、品質保証]製品はISOで製造する段ボール製品のため一巡したりサイクルを実施しながら、環境、災害、コロナ禍等、社会課題を解決する製品の開発製造を実施 <(現状値)2023年の数値> 売上割合:2%(36,000千円実績)	<2030年に向けた指標> 売上割合:40% <3年後に向けた指標> 売上割合:20%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 24日
住 所 埼玉県入間市宮寺4096-9
県内企業等の名称 光陽精工株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 新井 啓子

光陽精工株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

光陽精工はSDGsに賛同し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。
製造業として取組むべき環境問題等の社会的価値の創造をしっかりと認識し、経済的価値の創造との
両立を目指して全従業員が一丸となり取り組んでまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	油圧式の成形機を電気の成形機に買い替えることで使用電力を削減する。(入間工場:14台中6台が油圧式) ※油圧式の成形機は電動式に比べ電力消費が断然大きい <(現状値)2022年の数値> 使用電力:334,732kw	<2030年に向けた指標> 電力使用量7%減(23,431kw減) <3年後に向けた指標> 電力使用量3%減(10,041kw減)
社会	地元の人材を積極的に採用する。また、地域の行事(祭り、清掃等)へ積極的に参加する <(現状値)2022年の数値> ①地元の人材採用:入間工場11名中9名 入間市民 ②地域行事への参加:3名参加	<2030年に向けた指標> ①10名以上維持 ②10名以上の参加 <3年後に向けた指標> ①10名以上維持 ②3名以上の参加
経済	女性や高齢者の多様な働き方を推進し、積極的に雇用している <(現状値)2022年の数値> ①入間工場の従業員女性比率:45% ②女性管理職:0名	<2030年に向けた指標> ①60%以上を維持 ②女性管理職2名以上 <3年後に向けた指標> ①60%以上を維持 ②女性管理職1名以上

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 26日
住 所 埼玉県春日部市大畑466-1
県内企業等の名称 株式会社ハイスパック
代表者役職氏名 代表取締役 長野 幸樹

株式会社ハイスパック はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私達は企業の社会的責任として、CO2排出削減による環境保全、社会を支える輸送の提供、従業員が働きやすく・やりがいのある環境の創出を通して、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エコドライブの徹底(急加速・急発進の禁止、ムダなアイドリングをストップ)や定期的なタイヤの空気圧等の点検・整備による燃費向上を図る <(現状値)2023年の数値> ・1台当たりの燃費:5.61km/l	<2030年に向けた指標> 1台当たりの燃費 7.00km/l <3年後に向けた指標> 1台当たりの燃費 6.00km/l
社会	年次有給休暇の取得により、社員がリフレッシュやスキルアップ等働きやすい環境づくりを創出する <(現状値)2023年の数値> ・年次有給休暇取得率:60.3%	<2030年に向けた指標> 年次有給休暇取得率 100% <3年後に向けた指標> 年次有給休暇取得率 80%
経済	多様な働き方を推進する <(現状値)2023年の数値> 女性ドライバーの割合:8.0%(4名)	<2030年に向けた指標> 女性ドライバーの割合 30% <3年後に向けた指標> 女性ドライバーの割合 20%(毎年2名以上で計6名の増員)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月1日
住 所 埼玉県さいたま市桜区西堀3-21-23
県内企業等の名称 株式会社久永 関東支店
代表者役職 氏名 代表取締役社長 久永 修平

株式会社久永 関東支店 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

SDGsの趣旨に基づき、事業計画・戦略を立て、社員一人一人が、お客様や地域の課題解決の為に久永の出来ること(久永5つの目標)から行動して事業を通して「誰一人取り残さない」心豊かな社員と未来の会社を創り、豊かな未来・社会を創ることに貢献いたします。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①環境改善・事故削減のための安全機器搭載+環境型車輜(社用車)の導入 ②ペーパーレス化(書架・脇机の撤去) <(現状値)2023年の数値> ①1台 ②書架13台・脇机20台	<2030年に向けた指標> ①導入台数3台 ②書類保有率50%に削減(2020年比) <3年後に向けた指標> ①導入台数1台 ②書類保有率20%に削減(2020年比)
社会	シニアの活躍、生涯現役を目指し、再雇用者の雇用拡大 <(現状値)2023年の数値> 再雇用率:0%	<2030年に向けた指標> 65歳以上再雇用率75% <3年後に向けた指標> 65歳以上再雇用率30%
経済	ユーザー様へ建設業現場の安全性、生産性向上のための、i-Construction商品の普及・推進を行い、自社 i-Construction商品販売比率を拡大する。 <(現状値)2023年の数値> i-Construction商品販売比率:7%	<2030年に向けた指標> 売上比率:30% <3年後に向けた指標> 売上比率:10%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 1日
住 所 埼玉県熊谷市赤城町3-163-7
県内企業等の名称 株式会社 東電工業社
代表者役職氏名 代表取締役 小暮 淳夫

株式会社 東電工業社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「全従業員は顧客優先のサービス精神に徹し、自己責任、自助努力で技術力と生産性の向上に努める」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量の削減を図る。 地球温暖化対策計画 <(現状値)2023年の数値> エネルギー使用量(電力):40,372kwh	<2030年に向けた指標> エネルギー使用量の削減:5% <3年後に向けた指標> エネルギー使用量の削減:3%
社会	社員参加型・社会貢献活動の推進 <(現状値)2023年の数値> ①年4回のロードサポート活動への社員参加: 75% ②学生インターンシップの受入:2人/年	<2030年に向けた指標> ①90% ②2人/年 <3年後に向けた指標> ①80% ②2人/年
経済	多様な働き方を推進する。シニアの活躍を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①男性社員の育児休暇取得率:対象者無 ②社員の有休休暇取得率(年間10日):97% ③ノー残業デーの履行率:57%	<2030年に向けた指標> ①100% ②100% ③80% <3年後に向けた指標> ①80% ②98% ③70%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月17日
住 所 埼玉県越谷市越ヶ谷2-8-12
県内企業等の名称 山崎建設株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 山崎 守

山崎建設株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、地球環境の保全を意識し、事業活動を通じて環境保全と環境美化に努めると共に、法令順守・省エネルギー化・資源の有効活用に取り組む事により、CO2や廃棄物の削減を推進します。また、ボランティア活動等の社会貢献にも積極的に取り組む事で、地域と共同して社会の発展に貢献します。
この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、全社員が一丸となってSDGsの達成に取り組んで参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー消費を削減する事により、CO2排出量の削減に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> エネルギー消費によるCO2排出量: 123,251kg-co2	<2030年に向けた指標> エネルギー消費によるCO2排出量5%削減 <3年後に向けた指標> エネルギー消費によるCO2排出量3%削減
社会	社会貢献(ボランティア)活動への積極的な参加。 <(現状値)2022年の数値> 1年に1回程度(5人) 本社屋周辺の街の美化活動。(随時実施)	<2030年に向けた指標> 年4回/のべ20人 <3年後に向けた指標> 年2回/のべ10人
経済	社会情勢に適応する為、高齢者や障害者の雇用を推進する。 <(現状値)2022年の数値> 3人	<2030年に向けた指標> 8人 <3年後に向けた指標> 6人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 31日
住 所 埼玉県所沢市亀ヶ谷185-3
県内企業等の名称 株式会社トモダ企画
代表者役職 氏名 代表取締役 友田 恭一

株式会社トモダ企画 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

「私たちは、誠実な企業でありたい」、「ありがとうと言われる企業でありたい」という企業理念に基づき、企業にも環境にもやさしくあり続け、常に誠実に行動することで地域社会の発展に貢献します。社員一人ひとりが主体性を持ち、SDGsに貢献できるよう行動して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	低炭素社会実現に向け、省エネルギー設備への入替や社員個人への啓発を行い、会社全体で電気使用量の削減に取り組む。 <(参考値)2020年の数値> 電気使用量:744,160kwh <(現状値)2023年の数値> 電気使用量:543,338kwh ▲27%	<2030年に向けた指標> 2020年対比:▲35% <3年後に向けた指標> 2020年対比:▲30%
社会	多様な働き方を推進し、従業員の年次休暇所得日数の向上に取り組む。 <(参考値)2020年の数値> ①平均有給休暇取得日数:(社員)6.1日 ②平均有給休暇消化率:(スタッフ)84.3% <(現状値)2023年の数値> ①平均有給休暇取得日数:(社員)9.9日 ②平均有給休暇消化率:(スタッフ)85.81%	<2030年に向けた指標> ①(社員)16日 ②(スタッフ)100% <3年後に向けた指標> ①(社員)11日 ②(スタッフ)90%
経済	地域経済の持続的な成長を目指し、地域の事業者との取引増加に取り組む。 <(参考値)2020年の数値> 県内所在の取引者数:54社/216社 (県内所在の取引者の占める割合:25%) <(現状値)2023年の数値> 県内所在の取引者数:58社/222社 4社増加 (県内所在の取引者の占める割合:26%)	<2030年に向けた指標> 2020年対比:10社増加(累計64社) <3年後に向けた指標> 2020年対比:8社増加(累計62社)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 26日
住 所 埼玉県吉川市会野谷1丁目173-1
県内企業等の名称 株式会社 アーネスト
代表者役職 氏名 代表取締役社長 大川 恵司

株式会社 アーネスト はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は企業理念であります「自動車部品のリビルト・リサイクルを通じて地球の将来を支える」に基づき地域社会及び環境問題に貢献する。
この考え方は継続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組み、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	紙ベースにて出力している請求書を電子化しコピー用紙使用量削減をめざす。 <(現状値)2023年の数値> 月請求書出力件数:94拠点(出力用紙数217枚)	<2030年に向けた指標> 出力拠点数及び出力枚数 50%削減 <3年後に向けた指標> 出力拠点数及び出力枚数 30%削減
社会	従業員の年次有給休暇取得日数の向上を図る <(現状値)2023年の数値> 1人当たり年間平均取得日数:12.8日	<2030年に向けた指標> 1.0日増加 <3年後に向けた指標> 0.5日増加
経済	当社の生産する製品すべてが環境配慮製品と考えておりますので、自動車部品のリビルト製品の売上増加に取り組む。 <(現状値)2023年の数値> 売上高:3,519百万円/年	<2030年に向けた指標> 5%増加 <3年後に向けた指標> 3%増加

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 25日
住 所 埼玉県川口市小谷場531
県内企業等の名称 三位電気株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 佐藤 仁

三位電気株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

SDGsへの取組の重要性を認識し、豊かな社会の建設に貢献することを通じて「名実ともに、優れた魅力ある会社づくりを目指す」という理念のもと営業・工事・業務が三位一体となり、ひとつの目標に向かって行動致します。また「安全第一」「品質の向上」「技術の向上」を追及し、常に成長し続ける企業として持続可能な社会の実現に向けた活動を展開して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①紙使用量の削減・・・現場管理アイテムとしてタブレット型PCを導入しペーパーレス化を図る ②災害時に使用する電力確保 <(現状値)2023年の数値> ①タブレット型PC導入台数:35台 ②蓄電池設備:2台設置	<2030年に向けた指標> ①タブレット型PC導入台数:50%増 ②蓄電池設備:計5台設置 <3年後に向けた指標> ①タブレット型PC導入台数:30%増 ②蓄電池設備:計3台設置
社会	①ロードサポート活動 ②インターンシップ受け入れ <(現状値)2023年の数値> ①年2回・延8名 ②延3名/年	<2030年に向けた指標> ①ロードサポート活動:年4回・延16名 ②インターンシップ受け入れ:延4名/年 <3年後に向けた指標> ①ロードサポート活動:年3回・延12名 ②インターンシップ受け入れ:延3名/年(定着)
経済	①有給休暇取得率の向上 ②災害発生・緊急事態宣言発出等の非常時に多様な働き方が可能となる、ITインフラの整備 <(現状値)2023年の数値> ①有給休暇取得率:9.8日/年 ②テレワーク対応PC:10台導入 (事務系職員29名中34%割当)	<2030年に向けた指標> ①有給休暇取得率:12日/年 ②テレワーク対応PC:23台導入(事務系職員80%割当) <3年後に向けた指標> ①有給休暇取得率:11日/年 ②テレワーク対応PC:15台導入(事務系職員50%割当)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 22日
住 所 埼玉県さいたま市岩槻区小溝691-2
県内企業等の名称 有限会社マナカ
代表者役職 氏名 代表取締役 眞中 義治

有限会社マナカ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社の経営理念に「基本に忠実に進化する」貢と始まり、「総合的に貢献できる代理店を目指す」とあります。これは地域社会への貢献、すなわち人のために行動するという事です。正に、SDGsと同じ考えであり、全社員が役割を再認識し、SDGsの達成を目指して行きます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エコカーの導入、エコドライブを実施し、社用車一台あたりの燃費向上を図る。 <(現状値)2023年の数値> 燃費平均:17km/ℓ	<2030年に向けた指標> 全車エコカー導入、平均燃費:25km/ℓ <3年後に向けた指標> 平均燃費:20km/ℓ
社会	地域の清掃活動に参画する。 <(現状値)2023年の数値> 清掃活動:年2回、社員がのべ3名参加	<2030年に向けた指標> 年3回、社員や関係者がのべ10名参加 <3年後に向けた指標> 年3回、社員がのべ4名参加
経済	積極的な年次休暇の推進及び女性従業員の雇用を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①平均有給休暇取得日数:10日 ②女性従業員数:2名(うち管理職1名)	<2030年に向けた指標> ①15日 ②新たな女性雇用者:3名、女性管理職:2名 <3年後に向けた指標> ①12日 ②新たな女性雇用者:1名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 28日
住 所 埼玉県さいたま市大宮区大成町1-518-2
県内企業等の名称 株式会社 埼玉丸山工務所
代表者役職 氏名 代表取締役 本多 広

株式会社 埼玉丸山工務所 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

株式会社 埼玉丸山工務所の経営理念「生活、社会、安心の起点となる住まいを創造する」を基本とし、社業を通じて社員一人一人が自覚を持ちSDGsに貢献して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	建設工の型枠材廃棄率を軽減 <(現状値)2023年の数値> 建設工の型枠材廃棄率:75%	<2030年に向けた指標> 建設工事の型枠材廃棄率 30% <3年後に向けた指標> 建設工事の型枠材廃棄率 70%
社会	<(現状値)2023年の数値> ①献血活動の主催/献血参加者70名 ②地域チャリティーイベント/1回/年 活動参加者68名(収益金をさいたま市地域へ納められ、(財)埼玉県腎・アイバンク協会、献血事業、薬物乱用防止教室の開催、大宮西地区サッカー少年団育成支援などに使われている)	<2030年に向けた指標> ①参加者100名 ②参加者100名 <3年後に向けた指標> ①参加者80名 ②参加者70名
経済	労働生産性の向上 <(現状値)2023年の数値> 年次有給休暇の取得率:55%	<2030年に向けた指標> 年次有給休暇の取得率 80% <3年後に向けた指標> 年次有給休暇の取得率 60%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 7日
住 所 埼玉県比企郡川島町牛ヶ谷戸489
県内企業等の名称 株式会社島村工業
代表者役職 氏名 代表取締役 島村 健

株式会社島村工業

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念を「創造－自然との調和」としております。これは持続可能な開発目標(SDGs)の概念と同一線上に存するものと考えております。社員一人一人が経営理念の実現に取り組むことがSDGsの達成につながるものとして、日々の事業活動に邁進してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	【CO ₂ 排出量の削減、及び再生可能エネルギー生産の持続】 <(現状値)2023年の数値> ①エコアップ認証事業所のCO ₂ 総排出量:163t-CO ₂ /年 ②太陽光発電所運営による再生可能エネルギーの生産:110万kwh/年	<2030年に向けた指標> ①141.5t-CO ₂ /年 ②110万kwh/年を電気設備更新により維持 <3年後に向けた指標> ①150.3t-CO ₂ /年 ②110万kwh/年を電気設備更新により維持
社会	【社員参加型・社会貢献運動の推進】 <(現状値)2023年の数値> 街の美化活動(ロードサポート活動):14回/年・のべ75名	<2030年に向けた指標> 16回/年・のべ100名 <3年後に向けた指標> 14回/年・のべ85名
経済	【障害者の雇用促進・維持】 誰もが職業を通じた社会参加のできる「共生社会」の実現に貢献する。 <(現状値)2023年の数値> 障害者の雇用率:4.08%	<2030年に向けた指標> 4.3%以上の維持 <3年後に向けた指標> 4.08%以上の維持

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月29日
住 所 埼玉県深谷市幡羅町1-11-11
県内企業等の名称 株式会社 モテギ
代表者役職氏名 代表取締役 茂木 克成

株式会社 モテギ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は顧客満足の向上、各種エネルギー消費量の改善、物流サービスに関する社会的責任、安全確保、法規制の順守等を従業員が一丸となって取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	自動配車システム・デジタルタコグラフ・ドライブレコーダー・バックモニターを搭載し、安全運転、省燃費運転を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 車両搭載比率:100%	<2030年に向けた指標> 車両搭載比率:100%を維持継続 <3年後に向けた指標> 車両搭載比率:100%を維持継続
社会	保育施設を併設し、地域住民の方が活躍できる環境整備に取り組んで行く。 <(現状値)2023年の数値> 開園時からの卒園児累計人数:74名	<2030年に向けた指標> 卒園児累計人数:100名 <3年後に向けた指標> 卒園児累計人数:86名
経済	IT導入により、効率改善を推進し、働き易い職場環境作りを目指す。 <(現状値)2023年の数値> PC・タブレット・その他デバイス保有率:従業員比率 51%	<2030年に向けた指標> 従業員比率 60% <3年後に向けた指標> 従業員比率 53%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月18日

住 所 埼玉県川越市上寺山171-1

県内企業等の名称 株式会社 関東建設

代表者役職氏名 代表取締役 栗田 喜行

株式会社 関東建設

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は先進の総合建設業として環境に配慮する世の中の流れに対応し、より豊かな社会環境を創造することで社会生活の向上に役立ち、社会貢献を果たし、お客様の信頼を得て発展する企業を目指していく方針です。この方針は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、その達成に向けた技術者集団であるべき行動をしていきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	埼玉県エコアップを推進する。 <(現状値)2022年の数値> CO2排出量:1,529トン	<2030年に向けた指標> CO2排出量:2.0%削減 <3年後に向けた指標> CO2排出量:1.0%削減
社会	従業員の年次休暇取得日数を増やす。 <(現状値)2022年の数値> 年次休暇取得平均日数:8.5日	<2030年に向けた指標> 年次休暇取得平均日数:10日 <3年後に向けた指標> 年次休暇取得平均日数:8.5日
経済	女性雇用率を向上させる。 <(現状値)2022年の数値> 女性雇用率:17.3%	<2030年に向けた指標> 女性雇用率:22% <3年後に向けた指標> 女性雇用率:20%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月30日
住 所 埼玉県狭山市狭山台4-27-38
県内企業等の名称 住協建設株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 安永久人

住協建設株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社はグループの経営理念である「不動産事業・建設事業及びその関連事業の健全な運営と発展を通じて、豊かで明るい社会の実現に尽力し、もって経済の発展に寄与する。」に基づき、地域社会の発展に貢献する。この考えは持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事業活動によるCO ₂ 排出量の削減 <(現状値)2023年の数値> 燃費:14.9km/L ※当初宣言時の2030年に向けた目標を達成済のため、現状維持に努める	<2030年に向けた指標> 燃費:14.9km/Lの維持 <3年後に向けた指標> 燃費:14.9km/Lの維持
社会	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進 <(現状値)2023年の数値> 安全装置付の車輛への入替:68%	<2030年に向けた指標> 安全装置付の車輛への入替:100% <3年後に向けた指標> 安全装置付の車輛への入替:70%
経済	障害者雇用の推進 <(現状値)2023年の数値> 障害者の雇用人数:4人	<2030年に向けた指標> 障害者の雇用人数:5人 <3年後に向けた指標> 障害者の雇用人数:4人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 30日
住 所 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷1-8-18
県内企業等の名称 株式会社積田電業社
代表者役職氏名 代表取締役 積田 優

株式会社 積田電業社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

持続的成長と企業価値向上に挑戦し続け、安全安心で豊かな社会づくりに貢献し、環境への配慮、地球環境の維持向上に寄与し、地域社会の一員として積極的にSDGs推進につながるよう取り組んでいきます。

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	脱炭素化へ向けて、社有車を環境配慮車両に入れ替える。 <(現状値)2023年の数値> 環境配慮車両率:22.5%	<2030年に向けた指標> 環境配慮車両率:70% <3年後に向けた指標> 環境配慮車両率:30%
社会	社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①子供関連への寄付:1回/年 ②道路清掃活動:8回/年	<2030年に向けた指標> ①子供関連への寄付:1回/年 福祉関連への寄付:1回/年 医療関連への寄付:1回/年 ②道路清掃活動:20回/年 <3年後に向けた指標> ①子供関連への寄付:1回/年 福祉関連への寄付:1回/年 ②道路清掃活動:12回/年
経済	多様で柔軟な働き方の推進を図るために特別休暇を新設する。 (リフレッシュ・バースデー・ボランティア) <(現状値)2023年の数値> 特別休暇の日数:2日	<2030年に向けた指標> 特別休暇の日数:5日 <3年後に向けた指標> 特別休暇の日数:3日

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1 月 31 日
住 所 埼玉県川口市西川口3-7-33
県内企業等の名称 株式会社 菅土木
代表者役職 氏名 代表取締役 熊谷 貴洋

株式会社 菅土木 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

変化していく時代のニーズに柔軟に対応しながら、地域貢献できる総合建設会社として安心・安全のまちづくりを目指し、新しい分野への『チャレンジ精神』や『感謝の心』を忘れずに社員一丸となつて一所懸命に取り組んでまいります。
また、当社では『女性も男性もシニア世代も活躍・輝ける』職場環境を整え、働きやすい会社づくりに力をいれております。
こうした理念はSDGsに通じるものであり、下記に定めた指標の達成に向け事業展開をしていきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	電力使用量の削減、CO ₂ 排出量の削減 ＜(現状値)2023年の数値＞ ・年間電力使用量:23000kw ・温室効果ガス(CO ₂ 換算)総排出量:8.5t	＜2030年に向けた指標＞ 電力使用量・CO ₂ 排出量の削減:5% ＜3年後に向けた指標＞ 電力使用量・CO ₂ 排出量の削減:2%
社会	社員参加型・社会貢献活動の推進 ＜(現状値)2023年の数値＞ ・清掃活動:60回/年・延べ×500人参加 ・フードパントリー・子ども食堂等への支援、 市イベント、商店会・町会・学校・社協等への 寄付・協力:15回/年	＜2030年に向けた指標＞ 清掃活動:80回/年 支援・寄付:25回/年 ＜3年後に向けた指標＞ 清掃活動:70回/年 支援・寄付:20回/年
経済	地域事業者との連携・技術的革新 ＜(現状値)2023年の数値＞ ・地域の事業者との取引増:現状55社 ・ICT建機導入による効率化:現状0件	＜2030年に向けた指標＞ 取引先:10社増 ICT導入:3件 ＜3年後に向けた指標＞ 取引先:5社増 ICT導入:1件

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 8日
住 所 埼玉県さいたま市南区太田窪2034-1
県内企業等の名称 内藤保険サービス株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 内藤 周作

内藤保険サービス株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

現在推進しているSDGsの目標8、11、12、13、15を下記取り組みを中心に今後も活動を行うと共に、活動に参加する個人・団体数を増やし、活動範囲を拡大する。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	マイボトル、マイバックを利用し、ペットボトル、レジ袋の使用量を削減する。植林活動を継続的に行い、温暖化対策に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> ①マイボトル、マイバック利用率:100% ②植林本数:150本/年	<2030年に向けた指標> ①100%を継続 ②500本/年 <3年後に向けた指標> ①100%を継続 ②150本/年
社会	街の清掃活動を中心とした社会貢献活動を実施する。 <(現状値)2022年の数値> ①街の清掃活動:250回/年 のべ250人 ②植林地の清掃活動:6回/年 のべ70人参加	<2030年に向けた指標> ①250回/年 のべ750人 ②6回/年 のべ1,200人 <3年後に向けた指標> ①250回/年 のべ500人 ②6回/年 のべ200人
経済	健康優良企業、健康経営実践企業として、既存従業員と新規に採用する従業員にとって働きやすい事業環境を整備する。 <(現状値)2022年の数値> ①人間ドックの受診者数:3人 ②従業員時間外労働時間の削減:平均時間外労働時間 1.5時間	<2030年に向けた指標> ①10人 ②0.5時間 <3年後に向けた指標> ①5人 ②1.5時間

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 13日
住 所 埼玉県戸田市美女木東2-1-11
県内企業等の名称 株式会社ENE's
代表者役職氏名 代表取締役社長 須貝 善宏

株式会社ENE's はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、グループ会社経営理念である「エプコグループで働く情熱のある社員とその家族の幸福を追求します。」「エプコグループの存在目的は、社会問題を解決し、国民生活に貢献する事です。」「エプコグループは、世界の住まい、暮らしを支えるインフラ企業を目指します。』に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標（SDGs）と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事業所における再生可能エネルギーの利用率の向上を図る。 <(現状値)2023年の数値> 再生可能エネルギー利用率:30%	<2030年に向けた指標> 再生可能エネルギー利用率 60% <3年後に向けた指標> 再生可能エネルギー利用率 40%
社会	IT導入による事務作業時間の削減を図る。 <(現状値)2023年の数値> 事務作業削減率 10% ※宣言時(2020年)の事務作業時間を基準としている。	<2030年に向けた指標> 2020年比 事務作業削減率 35% <3年後に向けた指標> 2020年比 事務作業削減率 15%
経済	環境に配慮した商品・サービスの推進を図る。 <(現状値)2023年の数値> 電化住宅パッケージ利用率:70% (全受託件数内での電化住宅の割合)	<2030年に向けた指標> 電化住宅パッケージ利用率 80% <3年後に向けた指標> 電化住宅パッケージ利用率 70%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 26日
住 所 埼玉県さいたま市北区宮原町2-78-36
県内企業等の名称 SMC株式会社 大宮営業所
代表者役職氏名 所長 鈴木 博志

SMC株式会社 大宮エリア はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

SMC株式会社大宮エリアでは下記の取組み目標を設定し、本業を通じてSDGsの達成に貢献して参ります

- ・持続可能な気候変動防止対策
- ・健康で安全・安心な職場環境づくり
- ・開発基盤となる人材育成と自動制御技術の普及
- ・グローバルな社会貢献活動

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	【目的:環境負荷低減】 ①製造過程時CO2排出量削減可能製品の販売 ②使用時CO2排出量削減可能製品の販売 ③環境性能の高い営業車両の運用 <(現状値)2023年の数値> ①②10% ③95%(11台/12台)※当初宣言時の指標達成済。	<2030年に向けた指標> ①②30%以上、③95%以上 <3年後に向けた指標> ①②10%以上、③95%以上
社会	【目的:自動制御技術教育】 お客様及び学生向け技術講習会(自動制御技術教育)を通じて持続可能な開発に必要な知識・技能を得られる機会を設けます。 <(現状値)2023年の数値> 12件/年(約100名) ※当初宣言時の2030年に向けた指標を達成済のため、現状維持に努める。	<2030年に向けた指標> 12件/年の継続 <3年後に向けた指標> 12件/年の継続
経済	【目的:本業を通じての社会貢献】 お客様生産現場の省エネ監査ウォークスルーを行うことで、機器の最適な使用方法を提案し製造現場の省エネ、省力化、自動化、安全対策に貢献します。 <(現状値)2023年の数値> 6件/年	<2030年に向けた指標> 10件/年 <3年後に向けた指標> 6件/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 31日

住 所 埼玉県さいたま市南区辻7-16-5

県内企業等の名称 アイバ産業株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役 若海 哲

アイバ産業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は3つの経営理念
「1.地域得意先様との共存共栄」「2.信用は無限の財産」「3.環境と福祉の真のサービス追及」
これらを基に、地域に根付いたSDGsの達成に貢献します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	「環境保全」 ・ペーパーレス推進 会議資料・作業報告書等の使用を控える <(現状値)2023年の数値> タブレット配布率:40.3%(23台/社員 57名)	<2030年に向けた指標> タブレット配布率 100% <3年後に向けた指標> タブレット配布率 54%
社会	「地域貢献」 ・地域密着型のボランティア活動 <(現状値)2023年の数値> 防災への啓発を目的とした夏祭り、防災訓練 の社員参加数:2名	<2030年に向けた指標> 社員参加数 10名 <3年後に向けた指標> 社員参加数 4名
経済	「多様な働き方」 ・女性、高齢者、障がい者の雇用機会の拡大 <(現状値)2023年の数値> 女性、高齢者、障がい者 雇用数 女性社員:8名 高齢社員(65歳以上):3名 障がい者社員:0名	<2030年に向けた指標> 女性社員 12名 高齢社員 6名 障がい者社員 1名 <3年後に向けた指標> 女性社員 10名 高齢社員 4名 障がい者社員 0名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月9日
住 所 埼玉県さいたま市浦和区岸町3-17-1
県内企業等の名称 日本赤十字社埼玉県支部
代表者役職氏名 事務局長 森尾 博之

日本赤十字社埼玉県支部 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

日本赤十字社の各種事業は、SDGsが設定する多くのゴールに関係している。既存の事業をSDGsと関連させ、赤十字の「人道」・「奉仕」の精神に基づき、「県民のいのちと健康を守る」事業を推進していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレスを推奨し、紙資源や印刷物の削減を図る <(現状値)2023年の数値> コピー用紙使用枚数:417,000枚	<2030年に向けた指標> コピー用紙使用枚数 現状値の20%削減 <3年後に向けた指標> コピー用紙使用枚数 現状値の10%削減
社会	①災害時の医療救護、避難所への巡回診療、被災者への心のケアなど、必要な人材教育と資器材を整備する。②いのちと健康を守るため、救急法などの講習や防災セミナーを普及する。 <(現状値)2023年の数値> ①災害救護訓練・研修等:13回 ②参加者:7,496人	<2030年に向けた指標> ①国・県・日赤主催の訓練・研修等 年間21回実施 ②講習会・セミナー参加者 年間16,000人以上 <3年後に向けた指標> ①Web研修やeラーニング等も活用し、年間21回実施 ②講習会・セミナー参加者 年間14,000人以上
経済	自然災害や事故などに対する災害救護活動をはじめ、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ための様々な人道支援活動を展開する日本赤十字社の活動に賛同・協力していただける企業・団体を増やす。 <(現状値)2023年の数値> 個人・団体:6,504会員 法人 :1,853会員	<2030年に向けた指標> 個人・団体・法人会員数 1万人 <3年後に向けた指標> 個人・団体・法人会員数 現状値を毎年2.5%ずつ増やす

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 15日
住 所 埼玉県加須市北大桑66-1
県内企業等の名称 アドバンス関東株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 早川 功

アドバンス関東株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社の経営理念である「社員一人一人が幸せを共有できる会社の構築」は、全ての人々の幸せを目指すSDGsの達成と目的を同じくするものであり、社員一人ひとりがそのことを自覚し、それぞれの役割を果たしていくことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①社内照明をLED化する。 ②エコ運転により燃料消費を削減する。 ③紙ベース書類を削減(紙使用量)する。 <(現状値)2023年の数値> ①50%設置 ②2.1%削減(当初宣言時を基準) ③30%削減(当初宣言時を基準)	<2030年に向けた指標> ①100%設置 ②燃料7%削減 ③70%削減 <3年後に向けた指標> ①70%設置 ②燃料3%削減 ③50%削減
社会	①年次有給休暇の取得を促進する。 ②安全性優良事業所を(Gマーク)取得。 <(現状値)2023年の数値> ①取得率46% ②取得しました	<2030年に向けた指標> ①90%取得 ②2030年まで継続取得 <3年後に向けた指標> ①60%取得 ②2026年まで継続取得
経済	①定年延長で長く働ける会社。 ②女性管理職の積極的登用。 <(現状値)2023年の数値> ①65歳 ②10.2%	<2030年に向けた指標> ①正社員65→70歳 ②女性管理職20%登用 <3年後に向けた指標> ①正社員60歳→65歳 ②女性管理職10%登用

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 31日
住 所 埼玉県久喜市所久喜707-4
県内企業等の名称 株式会社サン精密化工研究所
代表者役職氏名 代表取締役社長 村上 守

株式会社サン精密化工研究所

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は創業者の理念である「企業は永遠なり」長期安定成長を持続するため、適正規模での効率経営に努める」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献をしていく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	電力使用量の削減、及び再生可能エネルギーの利用率の向上 <(現状値)2023年の数値> ①電力使用量:6%削減(2019年度: 1,235,942KW) ②太陽光発電率:7.7%※当初目標を達成済	<2030年に向けた指標> 2019年度比 ①10%削減 ②7.7% <3年後に向けた指標> 2019年度比 ①9%削減 ②7.7%
社会	地域社会への貢献 <(現状値)2023年の数値> ①寄付の実施 (障害者施設へのクリスマスケーキ寄贈・営業利益の0.1%を地域に寄付・社内募金箱の設置) :15万円+25万円+31,756円他 ②清掃活動:週次での地域清掃活動の継続	<2030年に向けた指標> ①200万円以上(2019年より累計) ②週次での地域清掃活動の継続 <3年後に向けた指標> ①累計120万円以上(2019年より累計) ②週次での地域清掃活動の継続
経済	多様な働き方の推進 <(現状値)2023年の数値> ①高齢者雇用比率の増加:8.9% ②女性管理職の登用:0名 ③有給休暇取得率の向上:13.2日	<2030年に向けた指標> ①10.0% ②1名 ③15.0日 <3年後に向けた指標> ①9.0% ②0名 ③14.0日

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月26日
住 所 埼玉県上尾市原市中1-7-8
県内企業等の名称 千代本興業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 千代 達也

千代本興業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、2015年国連サミットで採択されたSDGsの「誰一人取り残さない」を理念とした1(貧困をなくそう)から17(パートナーシップで目標を達成しよう)までの17の目標、169のターゲットについて、賛同し、建設産業を通して、自分達が出来る事を出来る範囲で実践していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	社有車のハイブリット化によるガソリン使用 (Co2排出抑制)削減 <(現状値)2023年の数値> 社有車(営業車)のハイブリット化:3台	<2030年に向けた指標> 社有車のハイブリット化:7台 <3年後に向けた指標> 社有車のハイブリット化:5台
社会	社員参加型・社会貢献活動の推進 <(現状値)2023年の数値> ボランティア活動:6回/年・延べ30人	<2030年に向けた指標> ボランティア活動:12回/年・延べ60人 <3年後に向けた指標> ボランティア活動:8回/年・延べ40人
経済	シニア活躍を推進する <(現状値)2023年の数値> 70歳以上の雇用継続:3人	<2030年に向けた指標> 70歳以上の雇用継続:7人 <3年後に向けた指標> 70歳以上の雇用継続:5人

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 1日
住 所 埼玉県入間市狭山台1丁目2-21
県内企業等の名称 株式会社ケーロッド
代表者役職氏名 代表取締役 久礼 亮一

株式会社ケーロッド

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「地域、社会に貢献します」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことによりSDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エコドライブ推進によって平均燃費を向上させ、燃料使用量を減らす <(現状値)2023年の数値> 平均燃費:7.2km/ℓ	<2030年に向けた指標> 平均燃費8.0km/ℓ <3年後に向けた指標> 平均燃費7.5km/ℓ
社会	社会貢献活動の一環として街の美化活動を行う。 <(現状値)2023年の数値> 美化活動:4回/年 活動人数25人	<2030年に向けた指標> 12回/年 50人 <3年後に向けた指標> 6回/年 35人
経済	多様な働き方の推進。 <(現状値)2023年の数値> 高齢者雇用比率:5% 女性雇用比率:10%	<2030年に向けた指標> 高齢者雇用比率:10% 女性雇用比率:16% <3年後に向けた指標> 高齢者雇用比率:7% 女性雇用比率:12%

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 26日

住 所 埼玉県さいたま市岩槻区笹久保新田550番地

県内企業等の名称 株式会社プラコー

代表者役職 氏名 代表取締役社長 古野 孝志

株式会社プラコー

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

弊社は、1960年創業以来、プラスチック押出機・リサイクル機器のメーカーとして培った技術と経験を基に、真の環境社会の現実を目指し、プラスチック廃棄物等の削減やリサイクルを通じてCO₂削減を進めて参ります。
この取り組みはSDGs(持続可能な開発目標)達成に貢献するものと考え、より積極的に行動して参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	FAXや、回覧用資料を電子化し、ペーパーレスに努め、コピー用紙の削減に取り組む。 <(現状値)2023年の数値> 年間:約35,000枚 ※2020年の数値:年間約30,000枚	<2030年に向けた指標> コピー用紙の使用枚数の削減30% 2020年比 <3年後に向けた指標> コピー用紙の使用枚数の削減15% 2020年比
社会	①社員の労働安全衛生を改善し、労災を起こさない会社を目指す。 ②多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①1件有り ②高齢者の雇用割合:12%(10名)	<2030年に向けた指標> ①労災ゼロ ②高齢者の雇用割合 30% <3年後に向けた指標> ①労災ゼロ ②高齢者の雇用割合 20%
経済	プラスチック再生ペレット装置の販売を促進し、プラスチック廃棄物の削減とリサイクルを目指す。 <(現状値)2023年の数値> 販売実績:5台	<2030年に向けた指標> 販売台数を30台とする。 <3年後に向けた指標> 販売台数を10台とする。

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月9日
住 所 埼玉県さいたま市浦和区常盤5-2-18
県内企業等の名称 クリーンシステム株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 井古田 晃伸

クリーンシステム株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおりに宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念として「信用は無限の財産、地域得意先様との共存共栄、環境と福祉の真の追求」に基づき、経済発展、社会貢献、環境を守ることに取り組む。この考え方は、持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人一人が誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①車両1台当たりのt-Co2の削減を図る。 ②車両燃費の低減 <(現状値)2023年の数値> ①1台当たりのCo2排出量:12.42t-Co2 ※2020年 12.98t-Co2 ②車両燃費 4.88km/ℓ ※2020年 4.85km/ℓ	<2030年に向けた指標> 2020年比 ①10.38t-co2(20%削減)、②6.00km/ℓ(20%向上) <3年後に向けた指標> 2020年比 ①12.05t-Co2(3%削減)、②5.00km/ℓ(2.4%向上)
社会	①社会参加型・社会貢献活動の推進、及びチームEat Allへの参加、②クリーン活動(支店営業所近隣の美化活動)の実施 <(現状値)2023年の数値> ①お客様へ食品残さのリサイクル推奨 :実績468件 ②毎月、クリーン活動を行っている。	<2030年に向けた指標>※2020年比 ①500件(7%増) ②3回/月 全従業員 ※2023年目標クリアにより上方修正 <3年後に向けた指標> ①480件(2.5%増)、②3回/月 のべ70人
経済	①障害者の雇用を推進する。 ②超過労働時間を削減する ③多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①障害者雇用数:4人 ②超過労働時間:60時間超勤者45人(月間平均値) ③女性管理職:1.7%(5人/282人)	<2030年に向けた指標>※2020年比 ①10人、②全従業員を40時間以下にする。(-20時間)、 ③2.7%(8人/300人) <3年後に向けた指標> ①7人、②全従業員45時間以下にする。(-15時間)、 ③2.4%(7人/290人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年1月15日
住 所 埼玉県川越市下松原44-1
県内企業等の名称 有限会社 埼玉フーズ
代表者役職氏名 代表取締役 柿沼 孝司

有限会社 埼玉フーズ

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は「食品を通じ、お客様の心に応える行動で、健康・幸福に自信と誇りを持って、常に創造し、挑戦し続ける、夢のある存在として社会に貢献していく。」という経営理念に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	食品廃棄物の削減 <(現状値)2023年の数値> 食品廃棄物量:約3.5トン/日	<2030年に向けた指標> 食品廃棄物の削減:30% <3年後に向けた指標> 食品廃棄物の削減:10%
社会	地場産の野菜(地域資源)を積極的に利用 <(現状値)2023年の数値> 地場産野菜の利用:取扱高の5%程度	<2030年に向けた指標> 取扱高:7% <3年後に向けた指標> 取扱高:6%
経済	多様な人材(外国人・障がい者・高齢者等)の雇用 <(現状値)2023年の数値> 多様な人材の雇用比率:25% ※宣言時の目標数値を達成しているため、 2030年まで維持していく。	<2030年に向けた指標>※現状継続維持※ 雇用比率:25% <3年後に向けた指標> 雇用比率:25%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 2日
住 所 埼玉県加須市北小浜302-4
県内企業等の名称 ダイユウエンタープライズ株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役社長 早水 大輔

ダイユウエンタープライズ株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

ダイユウエンタープライズ株式会社は、無双～唯一無二の企業・人なれ～という社是を掲げ、日々事業を営んでおります。我々にしか出来ないサービス、事業活動を以ってSDGs達成に向けた取り組みをして参ります。SDGsのように企業も持続可能な組織でなくてはなりません。その為に、我々は企業という組織だけではなく一人ひとりが主体性を以ってこのSDGsのゴール達成に向けて貢献してゆきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	水性塗料の使用率向上 全VOC排出量のうち約39%が塗料が関係しており、溶剤形塗料から水性塗料の使用を増やすことで、VOC排出量を削減。 <(現状値)2023年の数値> 水性塗料の使用率:35%	<2030年に向けた指標> 水性塗料使用率:70% <3年後に向けた指標> 水性塗料使用率:50%
社会	①資格取得支援 ②女性の参画 ③ロードサポート制度登録 <(現状値)2023年の数値> ①施工管理取得率:33% ②女性管理職率:0% ③3か月に1度の道路清掃活動	<2030年に向けた指標> ①75% ②33% ③毎月1回 <3年後に向けた指標> ①42% ②17% ③2ヶ月に1回
経済	①時間外労働時間削減 ②有給休暇取得率向上 <(現状値)2023年の数値> ①平均時間外労働時間:28時間 ②有給休暇取得率:48%	<2030年に向けた指標> ①15時間 ②80% <3年後に向けた指標> ①18時間 ②60%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 16日
住 所 埼玉県深谷市稲荷町2-10-6
県内企業等の名称 古郡建設株式会社
代表者役職氏名 代表取締役社長 古郡 栄一

古郡建設株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

古郡建設グループは、自社の存在意義、仕事への誇り、社会に貢献している意識などを盛り込み、新しい経営の価値観を明確な形とした「クレド」にある経営理念にて、「地域社会に貢献し必要とされる会社であること」を掲げております。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、スタッフ一人ひとりが自分ごとと考へ、誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	環境保護の観点から、再生可能エネルギーを創出する。 <(現状値)2023年の数値> 太陽光発電量:7,222kw/年 ※令和3年宣言時の現状値が4,000kw/年であり達成済。当初の目標値である5,900kw/年を維持していく。	<2030年に向けた指標> 太陽光発電量:5,900kw/年 <3年後に向けた指標> 太陽光発電量:5,900kw/年
社会	社会貢献活動を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ・彩の国ロードサポート:5回/年 ・川の国応援団活動:3回/年 延べ178名/年 ※令和3年宣言時の目標値が延べ180名/年であり、引続き目標達成に向けて取り組む。	<2030年に向けた指標> 彩の国ロードサポート及び川の国応援団活動 延べ180名/年 <3年後に向けた指標> 彩の国ロードサポート及び川の国応援団活動 延べ160名/年
経済	ダイバーシティ推進の一環として女性活躍が活躍できる職場づくりを進める。 <(現状値)2023年の数値> 女性スタッフの技術職者:4名	<2030年に向けた指標> 女性スタッフの技術職者:10名 <3年後に向けた指標> 女性スタッフの技術職者:8名

【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 22日
住 所 埼玉県行田市栄町8番12号
県内企業等の名称 株式会社イトラスト埼玉
代表者役職 氏名 代表取締役 社長 山本 和利

株式会社イトラスト埼玉 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

株式会社イトラスト埼玉は、『社会の発展に寄与する』という経営理念のもと、「社会から高い評価を得る設計及び工事を提供する」「地球にやさしい環境施策を実施する」「安全は総てに優先する」を三つの柱に基づき活動する。この経営理念は持続可能な開発目標(SDGs) と同方向を目指すものであり、全社員が誠実に事業活動に取り組みSDGsの活動を推進します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	会社で使用する「電気」「社用車燃料」を二酸化炭素排出量に変換して、その排出量を削減。 <(現状値)2023年の数値> 二酸化炭素排出量:119.4t (2020年比 1%削減)	<2030年に向けた指標> 二酸化炭素排出量の削減 2020年比 20% <3年後に向けた指標> 二酸化炭素排出量の削減 2020年比 6%
社会	社会参加型・社会貢献の推進 街の美化運動 <(現状値)2023年の数値> ①彩の国ロードサポート団体: 12回/年 のべ240人 ②川の国応援団美化活動: 12回/年 のべ12人	<2030年に向けた指標> ①12回/年 のべ480人 ②12回/年 のべ36人 <3年後に向けた指標> ①12回/年 のべ300人 ②12回/年 のべ24人
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①高齢者の雇用比率:14%(7人/48人) ②障がい者の雇用比率:4%(2人/48人) ③外国人の雇用比率:2%(1人/48人)	<2030年に向けた指標> 各項目の雇用比率を2%上げる ①16% ②6% ③4% <3年後に向けた指標> 各項目の雇用比率を1%上げる ①15% ②5% ③3%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 15日

住 所 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25

県内企業等の名称 AGS株式会社

代表者役職 氏名 代表取締役社長 中野 真治

AGS株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

AGSグループは、グループにおけるSDGsの基本方針「IT事業を通じて社会課題の解決に取り組み、夢のある未来の創造に貢献する」に基づき、「豊かな社会の実現」「安全・安心な社会の実現」「資源の効率的利用」「地球環境の保全」に取り組んでいくとともに、その基盤となる社会貢献や組織体制の強化・充実、人材の創出に取り組んでまいります。
また埼玉県と連携し「埼玉版SDGs」の達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①データセンターにお客様のIT環境を用意し、社会で使用される電力量削減を推進 ②データセンターの再生可能エネルギー利用率を向上し、資源の効率的利用を促進 <(現状値)2023年の数値> ①ご利用社数:累計324社 ②利用率:20%	<2030年に向けた指標> ①累計500社 ②利用率100% <3年後に向けた指標> ①累計420社 ②利用率50%
社会	①DXソリューションを通じさまざまな社会課題の解決に取り組み、豊かな社会の実現に貢献 ②セキュリティソリューションを通じて、安心・安全なデジタル社会の実現に貢献 <(現状値)2023年の数値> ①ご提供社数:累計256社 ②ご提供社数:累計215社	<2030年に向けた指標> ①累計500社 ②ご提供社数 累計300社(暫定値) <3年後に向けた指標> ①累計340社 ②ご提供社数 累計250社(暫定値)
経済	女性管理職(係長相当職以上)比率を向上 <(現状値)2023年の数値> 女性管理職(係長相当職以上)比率: 12.2%	<2030年に向けた指標> 女性管理職(係長相当職以上)比率:30% <3年後に向けた指標> 女性管理職(係長相当職以上)比率:18%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 20日

住 所 埼玉県児玉郡上里町勅使河原1139-4

県内企業等の名称 株式会社 磯屋

代表者役職 氏名 代表取締役 五味 晃一

株式会社 磯屋

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は自然からの恵みにより採取された海苔及び乾物を扱いギフトを製造する企業として、地域の発展に貢献すると共に、飢餓の撲滅や食品ロスの削減の取組みます。この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、全社一丸となって誠実に取り組み、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	賞味期限が残っている商品の食品ロスの削減 <(現状値)2023年の数値> 現状の食品ロス総量:20箱/年	<2030年に向けた指標> 0箱/年 <3年後に向けた指標> 12箱/年
社会	近隣の児童養護施設やこども応援ネットワークを通じ、食材や物資の提供をする。 <(現状値)2023年の数値> 食材・物資の提供:2回/年	<2030年に向けた指標> 5回/年 <3年後に向けた指標> 3回/年
経済	近隣の障害者施設への業務委託発注を増やす。 <(現状値)2023年の数値> 発注額:8,000,000円/年	<2030年に向けた指標> 10,000,000円/年 <3年後に向けた指標> 8,500,000円/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 5日
住 所 埼玉県さいたま市見沼区東大宮4-74-6
県内企業等の名称 株式会社GIS関東
代表者役職氏名 代表取締役 大湯 能宏

株式会社GIS関東

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

株式会社GIS関東の経営理念である「地理情報サービス分野におけるデジタルコンテンツ事業を通じて地域社会に貢献する。」に基づき、社会インフラの整備を通じて地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員一人ひとりが誠実に事業活動へ取り組むことで、SDGsの達成へ向けて活動します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	CO2排出量の削減に向け、商用車を環境配慮型車両とする。 <(現状値)2023年の数値> 環境配慮型車両:3台/全体5台	<2030年に向けた指標> 商用車及び作業車の100%を環境配慮型車両とする <3年後に向けた指標> 商用車の100%と作業車の50%を環境配慮型車両とする
社会	年次有給休暇の取得率をアップする。 <(現状値)2023年の数値> 年次有給休暇取得率:63%	<2030年に向けた指標> 年次有給休暇取得率を85%にする <3年後に向けた指標> 年次有給休暇取得率を70%にする
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> 女性の雇用率:14% 高齢者の雇用率:10%	<2030年に向けた指標> 女性の雇用率を20%、高齢者の雇用率を15%にする <3年後に向けた指標> 女性の雇用率を17%、高齢者の雇用率を13%にする

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 9日
住 所 埼玉県草加市学園町1-1
県内企業等の名称 獨協大学
代表者役職 氏名 学長 山路 朝彦

獨協大学

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

本学の学則第1条では、本学の目的を「社会の要求する学術の理論および応用を研究、教授することによって人間を形成し、あわせて獨協学園の伝統である外国語教育を重視して今後の複雑な国内および国際情勢に対処できる実践的な独立の人格を育成する」と規定している。
これは2030年に向けて国内外の諸問題の解決を目指す持続可能な開発目標(SDGs)の主旨に適合しており、今後もSDGsの達成を担う人材の輩出に貢献する実践的な独立の人格を育成していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	“CO2排出量削減” 環境への配慮のため、CO2排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> CO2排出量:31%削減 ※基準は、2004年度～2006年度の3か年の平均値。	<2030年に向けた指標> CO2排出量 26%減 <3年後に向けた指標> CO2排出量 24%減
社会	“SDGs関連科目履修者数の増加” SDGs人材を輩出するため、SDGs関連のキーワードを含む科目の履修者数を増やす。 <(現状値)2022年の数値> SDGs関連科目履修者数:6,693人	<2030年に向けた指標> 8,000人 <3年後に向けた指標> 7,000人
経済	“教育的視点を踏まえた経済的関係性の強化” 教育的視点を踏まえつつ、地域の福祉事業所や特別支援学校による販売活動の支援、地域で産出される食材の活用、学生が開発した商品の販売活動などを通じて、地域経済の活性化に貢献する。 <(現状値)2022年の数値> 上記活動合計件数:13件	<2030年に向けた指標> 25件 <3年後に向けた指標> 20件

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月31日
住 所 埼玉県熊谷市宮町1丁目3番地
県内企業等の名称 株式会社時田工務店
代表者役職 氏名 代表取締役社長 時田 雄輔

株式会社時田工務店はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、「技術者としてのプライド」、「地域創造者としての自覚」、「未来創造者としての責任」の3つの信念のもと、建築を通して地域社会の発展に取り組んでいます。これは、SDGs(持続可能な開発目標)と同じ方向を目指すものと考え、地域工務店として、社員一人一人が積極的に、また誠実に事業活動に取り組むことで、SDGsの達成に貢献してまいります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エネルギー使用量の削減 <(現状値)2022年の数値> ①コピー用紙の使用枚数の削減:43% (2019年実績値 120,500枚を基準) ②事務所照明のLED化:35%	<2030年に向けた指標> ①2019年比 70%削減 ②80% <3年後に向けた指標> ①2019年比 50%削減 ②50%
社会	社会参加型・社会貢献活動の推進 <(現状値)2022年の数値> ①ボランティア活動、街の美化活動への参加:2回/年 ②インターンシップ生の受入:2名/年	<2030年に向けた指標> ①4回/年 ②4名/年 <3年後に向けた指標> ①3回/年 ②3名/年
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①社員の有給取得率:30% ②女性社員の雇用比率:22% ③高齢者の雇用比率:26%	<2030年に向けた指標> ①40% ②40% ③35% <3年後に向けた指標> ①30% ②25% ③26%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月1日
住 所 埼玉県加須市志多見1361-1
県内企業等の名称 サイレキ建設工業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 野中 信孝

サイレキ建設工業株式会社

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、行動指針の一つである「地域・環境保存に努め、株主・社員・協力会社の共存共栄をモットーに融和をもって事業を展開する」ことに基づき行動し、課題に挑戦し、結果に責任を持ち、社員一人ひとりが考え、地域社会の発展に貢献する。
当社の考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員が一丸となって、誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	本社及び現場のCO2排出量を削減する。 <(現状値)2022年の数値> CO2排出量:55.8t-CO2	<2030年に向けた指標> CO2排出量:50.2t-CO2 (10%削減) <3年後に向けた指標> CO2排出量:54.1t-CO2 (3%削減)
社会	働き方改革を推進し、社員一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにする。 <(現状値)2022年の数値> 従業員の年次休暇平均取得率:46%	<2030年に向けた指標> 従業員の年次休暇平均取得率:60% <3年後に向けた指標> 従業員の年次休暇平均取得率:50%
経済	情報通信技術(ICT)等の活用により、建設現場の生産性を向上する。 <(現状値)2022年の数値> 対象現場での情報通信技術等の活用率:67% (対象18現場中12現場)	<2030年に向けた指標> 対象現場での情報通信技術等の活用率:90% <3年後に向けた指標> 対象現場での情報通信技術等の活用率:70%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 6年 2月 9日

住 所 埼玉県さいたま市桜区南元宿2-34-11

県内企業等の名称 株式会社第一テクノ 関東支店

代表者役職 氏名 執行役員関東支店長 田中 直康

株式会社第一テクノ 関東支店 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は、生活や産業に欠かせないインフラ事業を通じて、『地球環境・地域社会の持続可能な発展に貢献する』という基本理念を掲げ、社員一人ひとりにこの基本理念を浸透させ、誠実に事業活動に取り組んでいます。
この考えは持続可能な開発目標と同じ方向を目指すものであり、今後社会課題を起点とした事業機会創出にも取り組むことで、より一層SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	商用車を随時環境配慮型に更新し二酸化炭素の排出量を削減する。 <(現状値)2023年の数値> 【商用車】EV:1台 HV:11台 普通車:8台 (うち2台はBCPの観点からディーゼル車) トータル:20台 環境配慮型利用率:60%	<2030年に向けた指標> 商用車の環境配慮型車両の利用率を100%とする。 <3年後に向けた指標> 商用車の環境配慮型車両の利用率を80%とする。
社会	防災・減災設備の商品の拡販による浸水被害の低減。 <(現状値)2023年の数値> 2023年の売上高:418pt (2020年の売上高:248pt) (社内データによる)	<2030年に向けた指標> 宣言当初の目標達成済のため、現状の売上高維持に努める <3年後に向けた指標> 宣言当初の目標達成済のため、現状の売上高維持に努める
経済	先端技術の設計・研究開発に取り組む。 <(現状値)2023年の数値> 2023年の取組み:2件 2020年の取組み:1件 高効率ばっ気散気装置 遠隔監視操作装置	<2030年に向けた指標> 先端技術の設計・研究開発の取組み 10件(1件/年) <3年後に向けた指標> 先端技術の設計・研究開発の取組み 6件(1件/年)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月 30日
住 所 埼玉県春日部市緑町3-1-47
県内企業等の名称 株式会社新和測機
代表者役職 氏名 代表取締役 福地 一路

株式会社新和測機 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は経営理念である「社是を基本に『過去より現在、現在より未来』に向かって努力し、常に高い理想を掲げ、自己を磨く」に基づき行動し、地域社会の発展に貢献する。
この考え方は持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものであり、社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	①事務所内における緑化率のアップ ②環境負荷の少ない商品(コピー用紙含む)の使用 <(現状値)2023年の数値> ①事務所内における緑化率:10% ②エコ商品使用率:20%	<2030年に向けた指標> ①緑化率30%以上 ②エコ商品使用率60%以上 <3年後に向けた指標> ①緑化率10%以上 ②エコ商品使用率30%以上
社会	社員の労働安全衛生、教育 ①改善をしながら労災を起こさない会社 ②資格取得全額補助 ③セミナーの参加 <(現状値)2023年の数値> ①労災発生件数:1件 ②資格取得補助:社員比8%に補助 ③セミナー参加率:社員比20%	<2030年に向けた指標> ①労災発生件数0件 ②社員比30%以上 ③社員比30%以上 <3年後に向けた指標> ①労災発生件数0件 ②社員比25%以上 ③社員比25%以上
経済	①埼玉県産間伐材を使用した保安用品の販売促進 ②高齢者雇用割合を10%以上を継続する <(現状値)2023年の数値> ①間伐材で作成した工事用看板:15件 ②高齢者雇用割合:7.1%	<2030年に向けた指標> ①販売実績30%以上 ②高齢者雇用割合15%以上 <3年後に向けた指標> ①販売実績15%以上 ②高齢者雇用割合14%以上

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 1月23日
住 所 埼玉県さいたま市南区鹿手袋3-23-30
県内企業等の名称 シン建工業株式会社
代表者役職氏名 代表取締役 北 清太郎

シン建工業株式会社
はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

シン建工業株式会社はSDGs達成に向けた取組みに賛同し、企業理念である「企業も地域社会の一員」として社員一人一人がSDGsを理解し達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	エコカー使用率100%維持。 請求書の電子化によるペーパーレス。 <(現状値)2023年の数値> ①エコカー使用率:100%(33台) ②請求書のペーパーレス:0%	<2030年に向けた指標> ①エコカー使用率100%維持 ②請求書ペーパーレス100% <3年後に向けた指標> ①エコカー使用率100%維持 ②請求書ペーパーレス50%
社会	社員参加型・貢献活動の推進。 <(現状値)2023年の数値> ロードサポート活動:12回/年・延べ100人	<2030年に向けた指標> ロードサポート活動:12回/年・延べ170人 <3年後に向けた指標> ロードサポート活動:12回/年・延べ130人
経済	多様な働き方を推進する。 <(現状値)2023年の数値> ①高齢者の雇用率:17% ②障害者の雇用人数:0人	<2030年に向けた指標> ①高齢者の雇用率:50% ②障害者の雇用人数:2名 <3年後に向けた指標> ①高齢者の雇用率:25% ②障害者の雇用人数:1名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月9日
住 所 埼玉県熊谷市三ヶ尻3884
県内企業等の名称 株式会社ヤマキ
代表者役職 氏名 代表取締役 菊田 勝實

株式会社 ヤマキ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

私たち、株式会社 ヤマキは「真心、誇り、成長」をモットーとし、事業活動を通じて、次世代の子供たちが安心して暮らせる地域環境を守り、多様な雇用の創出など社会に貢献する理念に基づき事業を行っております。すべての人々に豊かで活力のある社会を実現するため2030年のGOALを目標とし、SDGs達成に向けて参ります。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	収集車及び社用車のエコカー保有率を上げる <(現状値)2023年の数値> 収集車・社用車保有台数におけるエコカー保有率:7%	<2030年に向けた指標> エコカー保有率 20% <3年後に向けた指標> エコカー保有率 10%
社会	①地域への貢献・国際児童基金への支援 ②女性社員の活躍の場を積極的に設ける <(現状値)2023年の数値> ①地域・国際児童基金への支援:3件 ②女子社員のSDGs取組参加者:5名	<2030年に向けた指標> ①地域・国際児童基金への支援 8件 ②SDGs取組参加者 10名 <3年後に向けた指標> ①地域・国際児童基金への支援 4件 ②SDGs取組参加者 6名
経済	企業として多様性を認識し、雇用を広げる <(現状値)2023年の数値> 多様な人材の雇用:18.3% (外国人雇用6名・高齢者雇用31名)	<2030年に向けた指標> 多様な人材の雇用 25% <3年後に向けた指標> 多様な人材の雇用 20%

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 1日

住 所 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5ソニックシティビル26階

県内企業等の名称 積水ハウス株式会社 埼玉栃木営業本部

代表者役職 氏名 常務執行役員 営業本部長 青木 慎治

積水ハウス株式会社 埼玉栃木営業本部 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

積水ハウスグループは2008年、住まいからのCO2排出ゼロを目指す「2050年ビジョン」を宣言し、「脱炭素」経営にいち早くかじを切り、2016年度は将来のさらなる環境変化に備えより広範な事業領域で2050年に向けた長期ビジョン「サステナビリティビジョン2050」を策定しました。2017年度は当社グループの長期的な価値実現に関心を持つステークホルダーと道筋を共有するため、2030年を見据えた中期の取り組みを示し具体的なアクションプランを実行しています。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	「脱炭素社会へ先導」 ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH※) 住宅「グリーンファースト ゼロ」推進 <(現状値)2022年の数値> ZEH普及拡大:93%	<2030年に向けた指標> ZEH普及93%維持 <3年後に向けた指標> ZEH普及93%維持
社会	「社会活動支援」 従業員と会社との共同寄付制度[積水ハウスマッチングプログラム]を開始し、社会活動を担うNPO団体を支援※します。 <(現状値)2022年の数値> [積水ハウスマッチングプログラム]社員加入率:32%	<2030年に向けた指標> [積水ハウスマッチングプログラム]社員加入率50% <3年後に向けた指標> [積水ハウスマッチングプログラム]社員加入率40%
経済	「働き方改革」子育てを支援する社会づくりを目指し、3歳未満の子を持つ男性社員を対象に1か月以上育児休業取得※を促します。 <(現状値)2022年の数値> 1か月以上の男性育児休業取得率:100% ※対象となる子(3歳未満)の育児休業期間のうち通算1か月までを特別育児休業(有給)として奨励。	<2030年に向けた指標> 1か月以上の男性育児休業取得率100%維持 <3年後に向けた指標> 1か月以上の男性育児休業取得率100%維持

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2 月 1 日
住 所 埼玉県川越市下松原518
県内企業等の名称 奎和工房
代表者役職 氏名 店主 本間 博士

奎和工房

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

みらいへとつむぐ家具のリサイクル活動に取り組むことを宣言します。
この宣言は持続可能な開発目標『SDGs』のつくる責任・つかう責任に関連し、同じ方向をめざすもので
す。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	認知度の低い木製家具の塗替えを広め、産業廃棄物となる家具の減少に努める。 <(現状値)2023年の数値> ①テーブル:53台 ②椅子:21脚 ③収納家具:3台	<2030年に向けた指標> ①テーブル:60台 ②椅子:144脚 ③収納家具:5台 <3年後に向けた指標> ①テーブル:60台 ②椅子:72脚 ③収納家具:5台
社会	川越まちゼミへの参加およびセミナーの自主開催等を行い、傷んだ家具を塗替えることで産業廃棄物の減少につながることを伝えていく。 <(現状値)2023年の数値> 0件	<2030年に向けた指標> 年間 5~10回の開催 <3年後に向けた指標> 年間 2~5回の開催
経済	不要となった木製こどもイスを回収し、塗替た後に必要としている家庭に販売するリサイクル活動を実施する。 <(現状値)2023年の数値> 0件	<2030年に向けた指標> 年間 10件から15件実施 <3年後に向けた指標> 年間 3件から5件実施

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 2日
住 所 埼玉県狭山市上奥富106-1
県内企業等の名称 株式会社ホンダカーズ埼玉西
代表者役職 氏名 代表取締役 中村 善昭

株式会社ホンダカーズ埼玉西 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

情熱と誠意を持ってホンダ製品の販売とサービスを通じて 地域社会に貢献し、お客様に親しまれ、選ばれる企業を目指します。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレスによるコピー用紙削減。 <(現状値)2023年の数値> コピー用紙使用枚数:219,551枚(年間)	<2030年に向けた指標> 10%削減 <3年後に向けた指標> 3%削減
社会	社会福祉活動として食材提供 地域の子ども食堂・フードバンク等 <(現状値)2023年の数値> 食材提供:月間5拠点 45セット提供	<2030年に向けた指標> 月間7拠点 70セット提供 <3年後に向けた指標> 月間6拠点 50セット提供
経済	RPA導入による事務作業時間削減 <(現状値)2023年の数値> 従業員平均事務作業時間8.26h	<2030年に向けた指標> 15%削減 <3年後に向けた指標> 5%削減

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月1日
住 所 埼玉県富士見市渡戸1-4-13
県内企業等の名称 羽石電気工業株式会社
代表者役職 氏名 代表取締役 羽石 隆

羽石電気工業株式会社 はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は創業より、奉仕・修練・友情を第一に考え裕(ゆたか)な地域社会の発展を目指しています。環境に配慮し社会が求めるより良い製品や設備を提供することで持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものです。ひとりひとりが積極的に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	ペーパーレス化・廃棄物の削減と分別の細分化を図り実廃棄量の減少に取り組めます。 <(現状値)2023年の数値> 廃棄物の総量:5トン	<2030年に向けた指標> 廃棄物の排出量を40%削減する <3年後に向けた指標> 廃棄物の排出量を15%削減する
社会	青少年健全育成活動の推進、若者支援を行います。また、子供を中心とした防災教育の啓蒙活動に取り組めます。 <(現状値)2023年の数値> ①青少年健全育成活動の推進:8回/年 実施 ②防災教育活動支援:3回/年 実施	<2030年に向けた指標> ①12回/年 ②5回/年 <3年後に向けた指標> ①9回/年 ②4回/年
経済	多様な働き方を推進し、IT導入を増やし施工管理等の実作業時間を減らします。 <(現状値)2023年の数値> ①多様な人材の活用:2人 ②施工管理等に係る従業員の平均実作業時間:9.2時間	<2030年に向けた指標> ①多様な人材の活用4人 ②実作業時間を20%削減 <3年後に向けた指標> ①多様な人材の活用2人 ②実作業時間を10%削減

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月1日
住 所 埼玉県富士見市渡戸1-15-20
県内企業等の名称 NPO法人彩の国自然学校C'S
代表者役職 氏名 代表理事 羽石 貴裕

NPO法人彩の国自然学校C'S はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

NPO法人彩の国自然学校C'Sは、子どもたちとその家族や地域・学校に対し体験活動や教育支援を行い、あらゆる世代や多文化の交流によって人のつながりを広げています。子どもと大人が共に育ちあう環境づくりにより持続可能な開発目標(SDGs)と同じ方向を目指すものです。当法人の活動に関わるひとりひとりが積極的に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	印刷ミスや必要以上の印刷をなくし、コピー用紙の使用枚数を減らす。 <(現状値)2023年の数値> コピー用紙使用枚数:年平均7,000枚 廃棄物量:約300枚程度(その他含む0.1t)	<2030年に向けた指標> ②30%カット ②廃棄物30%削減 <3年後に向けた指標> ①15%カット ②廃棄物20%削減
社会	①子供の健全育成のため体験活動を推進する。 ②保護者・子どもの相談活動の充実を図る。 <(現状値)2023年の数値> ①体験活動:平均年6回・31回(累計) ②相談活動:平均月2回・20回程度	<2030年に向けた指標> ①体験活動:平均年6回・90回以上(累計) ②相談:webの開設(平日昼間)・200回以上 <3年後に向けた指標> ①体験活動:平均年6回・50回以上(累計) ②相談:電話メール対応 平均月4回・50回以上
経済	県内及び地域経済の活性化や地域愛と社会教育力を育むために事業や活動の実施における地域のお店や施設の活用頻度を増やします。 <(現状値)2023年の数値> 年間事業のうち活用回数:12回 活用施設等の数:累計18か所 3地域	<2030年に向けた指標> 活用回数12回以上、累計25か所または5地域以上 <3年後に向けた指標> 活用回数12回以上、累計23か所または4地域以上

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年2月9日

住 所 埼玉県入間市豊岡1-3-5 ワンジェイビル4階

県内企業等の名称 Color Presents

代表者役職 氏名 代表 荒岡 真由美

Color Presents はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

Color Presentsは経営理念である「一人ひとりが自分の価値を創造。生かして前進できる世の中に！」に基づき地域社会の発展に貢献する。また、SDGsを自分ごととして捉え実行できる人を増やすため、企業、団体の強みを発掘、強化しSDGs達成に貢献できるパートナーシップ作りに取り組みます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	事業活動で利用する梱包資材資源の削減。 <(現状値)2023年の数値> エアーパーキン:84m	<2030年に向けた指標> エアーパーキン使用量削減率:60% <3年後に向けた指標> エアーパーキン使用量削減率:20%
社会	SDGsセミナー×アドバンスカラー(R)及び、コンサルを行い、SDGs取組宣言等の取組を個人、企業に提案推進することで、持続可能な社会の実現を目指す。 <(現状値)2023年の数値> <2023年指導実績>:33件 <2023年までの指導累計実績>:167件	<2030年に向けた指標> 指導件数:40件/年 累計426件 <3年後に向けた指標> 指導件数:33件/年 累計266件
経済	アドバンスカラーセラピストの育成をし、多様な働き方を推進する <(現状値)2023年の数値> <2023年育成実績>:96名 <2023年までの育成累計実績>:3,585名	<2030年に向けた指標> 育成:350名/年 累計5,285名 <3年後に向けた指標> 育成:100名/年 累計3,885名

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、可能な限り現時点での数値を御記入ください。